

高知新聞

須崎工高

中高生が防災活動発表

須崎市シンポに400人



中高生が防災活動を発表した「防災シンポジウム」（須崎市の市民文化会館）

【須崎】須崎市内の
中高生が防災への理解
を深める「防災シンポ
ジウム」が3日、同市
新町2丁目の市民文化
会館で開かれた。生徒
や住民ら約400人が、専
門家の講演や生徒によ
る討論を通して、災害
に強い地域づくりへ意
識を高めた。

た避難訓練や防災キャ
ンプ、危険箇所の調査
など多彩な活動を紹介
した。

生徒らは「県産木材
を使った簡易トイレを
避難所に寄贈」（須崎
中）、「防災CMを作成
」（須崎高）など、今後の
活動計画も披露。最後
に、災害に強い防災都
市を目指すとした「防
災サミット宣言」を読
み上げた。

また、岩手県釜石市
などで防災教育に取り
組む群馬大学大学院の
片田敏孝教授が講演。

片田教授は「相手は
自然。どんな津波が来
るかは分からない。想
定にとらわれず、生き
るために最善を尽くし
て」と強調した上、「海
の恵みが豊かな須崎市
に誇りと自信を持ち、
未来につなげてほし
い」と語り掛けた。

（山本 仁）



須工生徒会サミットに参加

須崎市防災シンポジウム開催